令和４年度碧南市藤井達吉現代美術館協議会　会議録（公表・要約）（敬称略）

１　日時

　　令和５年３月２８日（火）午後１時３０分～午後３時

２　場所

　　藤井達吉現代美術館 地下１階 多目的室Ｂ

３　出席者

(1)出席委員　平岩統一郎、鈴木並生、杉浦春一、浅井久夫、永坂幸子、杉浦和重、金原宏行、吉田俊英、江本菜穂子、多田宏明

(2)事務局職員　生田弘幸、岡崎康浩、木本文平、松野盛高、江坂篤史、豆田誠路、大長

悠子、日置麻里、大野俊治、岩月真由子、中島未紗

４　傍聴者　０人

５　あいさつ

６　議題

　(1) 美術館運営方針及び事業概要について

　(2) 令和４年度活動状況について

　(3) 令和５年度活動計画について

　(4) 藤井達吉現代美術館リニューアルについて

　(5) 令和４年度第１回収集部会の結果について（非公開）

７　会議内容

１　あいさつ(会長)

本日は、大変お忙しい中、委員のみなさまには、年度末のお忙しいなか、美術館協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。令和元年１２月の収蔵庫等増設改修工事の入札不調や新型コロナウイルス感染症の流行など、さまざまな想定外な出来事があり、おおよそ３年間の休館となりましたが、工事もおおむね完了し、令和５年５月２日にリニューアルオープンを迎えると伺っております。来年度は碧南市制７５周年であり、当美術館の記念すべき開館１５周年を迎える節目の年であります。待ちに待った念願のリニューアルオープンですので、今回の工事で新しくなった設備を十分に活かしていただき、今後もまちづくり拠点として、市民の皆様に親しまれる美術館として、まちの活性化につなげていただきたいと願っています。本日は、委員の皆様には、当館の活動状況や、今後の計画などにつきまして忌憚のないご意見を頂戴し、当館の発展にお力添えをいただきますことをお願い申し上げまして、開会のご挨拶といたします。

２　議題

(1) 美術館運営方針及び事業概要について

議　　長＝事務局に説明を求める。

事務局A＝美術館運営方針及び事業概要を説明。

(2) 令和４年度活動状況について

議　　長＝事務局に説明を求める。

館　　長＝教育普及、保存、所蔵作品貸出など活動状況を説明。

(3)　令和５年度活動計画について

議　　長＝事務局に説明を求める。

事務局（館長及び担当学芸員）＝企画展、常設展、共催展、教育普及、保存、調査研究など活動計画を説明。

議　　長＝委員の皆様よりご質問、ご意見等ございますか。

　　　委員B＝バランスよく企画されてとても良いと思います。

　　　委員C＝るるる展の「るるる」とはどのようなことか教えていただけないでしょうか。

　　　事務局D＝1年間の教育普及事業について紹介する展覧会です。年間のワークショ

ップでは、「る」の付く動詞をテーマに行っていきます。例えば、止め

る、光る、開ける、閉めるなど、動作からイメージをふくらませるよう

なワークショップを行っていきます。3月１日から約一か月間で「見

る、知る、やってみる」の参加型の展示を行う予定です。

　　　委員E＝改修しているときに、子どもワークショップ、親子ワークショップたく

さんの活動を行っていますが、オープンしたら引き続き回数は同じように動いていくのでしょうか。それかこちらの企画展の活動がメインとなるので減っていくのでしょうか。

　　　館長＝令和４年度はかなり抑えて行っています。これは休館中のため展覧会に

関連するワークショップが令和４年は、まったくなかったからです。今

後はそれが増えてまいりますし、回数や人員も増えてくるので、令和４

年度以上の数になってくると思います。他の館に比べても、かなり多く

の教育普及事業を行っております。

　　　委員F＝小中学校の立場でお話をさせていただきますと、休館ということもあっ

たかもしれませんが、美術館学習を出前でやっていただき、何回も何回

も学校へお見えになって屏風の模型も使って説明していただき、子ども

に作品や芸術を身近に感じられるように授業をしていただきました。子

どもたちが美術館に来た時に、「見たことあるな」と感じられるよう活

動をやっていただきとてもうれしく思います。引き続き活動を続けてい

ただきたいと思います。

議　　長＝館長より総括的になにかご説明はございますか。

館　　長＝休館中の教育普及活動については担当の学芸員がよくやっていただき、

感謝しております。会長さんともお話しましたが、コロナが始まった時

にクロージングパーティを行いまして、やっとコロナが収束する後にリ

ニューアルオープンとなります。コロナ禍の時は展覧会活動を中止して

おりまして、そういう意味は悪運が強いといえるかもしれません。コロ

ナ禍に開催している館はどのような対策するかなど、人は入らないし、

大変だったと思いますが、当館が３年間休んだことは大変なプレッシャ

ーでございまして、３年間のハンデをどう乗り越えていくかが課題であ

りますので、皆様方にご尽力いただけたらと思います。

　　　委員G＝共催展の中の野外彫刻絵画コンテストについて、子どもたちが夏休みの

期間に描くと思いますが外でスケッチすることが大変苦労していると聞

いたことがあります。野外彫刻でなければいけないものでしょうかと思

いまして、文化会館で展示した時にそのような声もありました。もう何

年もやっていると思いますが、違うテーマでやってもいいのではないで

しょうか。

館　　長＝彫刻のあるまちづくりの一環した事業で啓蒙する形で野外彫刻絵画コン

テストは行っているのですが、そのような意見があるということでした

ら、また当館でも検討してまいります。ご意見ありがとうございまし

た。

議　　長＝館長より悪運が強いとおっしゃっていましたが私は幸運と思います。今までは館長の想いを燃え尽きるぐらいやられてきたところですから、ちょうどこの３年間で充電されたということで捉えていただければと思います。

館　　長＝ありがとうございます。

議　　長＝また補足ですが、去年の２月に、ある東大教授に講話していただいたと

きに清澤満之の孫の住職が三河安城駅に迎えに行っていただいたら教授

がびっくりしておられました。清澤教授は、相当有名な方でございまして、東本願寺の宗教系のところもありますし、それから須田国太郎。これはまたＪＲ東海の須田寛会長のお父さん、ＪＲ東海系に案内状を配るなど行えばサポーターといいますか、来ていただけると思います。関係各所への広報をしっかりやっていただきたいと思います。

館　　長＝須田寛さんより須田国太郎展の開会式は参りますのでいうことで車を用意

しましょうかおっしゃったら、私は鉄道マンですので鉄道を使って碧南の

駅まで伺いますのでお任せくださいとおっしゃいまして。

議　　長＝前、碧南市観光協会にて呼んだときにあの方は、私は鉄道マンですので

鉄道があるところまでは鉄道で行きますのでとうことで、名古屋まで迎

えに来なくてもよいということで、ＪＲ刈谷駅から三河線で、碧南中央

駅まで見えましたので。

館　　長＝実はお見えになるかわかりませんが、美術と風土展。これもきょうと視

覚文化振興財団より支援をいただいておりまして、実はこれも須田寛さ

んの資金も動いている展覧会でもありまして、開会式も来ていただけた

らとのお話もあります。

議　　長＝京都の国立近代美術館で藤井達吉の展示を見ましたが、あの美術館が非

常に見づらく、順路が分かりづらい。いろんな企画展があると思いますが、ものづくりであれば魅力的品質と言いますが、オートマティカルに行けるような順路を管理することや、どこの美術館よりもトイレが綺麗だとか、それらも美術館の品質だと思いますのでそういうことも試みていただけると良いかと思います。前にレンブラント美術館に行ったときにちょうど修復しているところを見ることができたのですが、修復しているものをそこに設けるというのもひとつの方法だと思います。絵を見ながらでも心が落ち着き、それで次に見に行くとか、そういうことも美術館の目に見えない魅力が伝わるということもありますので、良いものばかりでは切りはないのでそのように感じますので、次はどこに行けばよいか聞かなくても、自動的に外へ帰れるような形がよいかと思います。また、せっかく出来ましたのに泥棒なども多くありますので、セキュリティ－や火事にも注意してください。セコムなどにやらせておくだけでなく、レ点管理を朝と午後でもよいのでするなど、セコムに任せたとしてもやられたら、やられたとなってしまいますので表に見えない部分も並行してやっていただけたらと思います。

(4) 藤井達吉現代美術館リニューアルについて

議　　長＝事務局に説明を求める。

事務局A＝図面にて主に新設された、収蔵庫３、多目的室Ａ、２階大型絵画搬入口、

自動ドア、搬入口、保存修復室、展示室４（藤井達吉記念室）、閉架書庫、

授乳室、多目的室Ｂ、レリーフなどを説明。

(5) 令和４年度第１回収集部会の結果について（非公開）